



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月2日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR室長 (氏名) 高武 彰

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	208,615	3.3	3,654	32.3	4,124	29.3	3,162	19.7
2018年3月期第1四半期	201,879	2.7	5,394	19.2	5,830	14.0	3,936	18.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 3,287百万円 (54.9%) 2018年3月期第1四半期 2,122百万円 (421.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	10.70	10.69
2018年3月期第1四半期	13.24	13.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	392,141	217,889	55.3
2018年3月期	376,204	219,861	58.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 217,014百万円 2018年3月期 218,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		17.00	17.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	425,000	2.0	11,000	3.8	12,000	4.4	8,000	5.0	27.06
通期	850,000	2.2	23,000	6.7	25,000	2.4	16,500	4.5	55.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	297,355,059 株	2018年3月期	297,355,059 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,702,673 株	2018年3月期	1,838,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	295,651,066 株	2018年3月期1Q	297,226,005 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外では米国の保護主義的な外交・通商政策による貿易摩擦やそれが新興国市場に及ぼす影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、原材料を含めた生産コストの上昇及び物流コストの高止まりが続く中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、「フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとして掲げ、チャレンジ精神を持って「中期経営計画2020」に掲げた施策等に取り組んでおります。また、本計画の最終年度の2021年3月期には、売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成すべく、グループ一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて67億36百万円増加して2,086億15百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて17億39百万円減少し、36億54百万円（前年同四半期比32.3%減）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて17億6百万円減少し、41億24百万円（前年同四半期比29.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて7億74百万円減少し、31億62百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークビッツ」等の主力商品は総じて堅調に推移しましたが、業務用商品の伸び悩み等もあり、売上高は微減となりました。

調理加工食品については、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、ピザ・スナック類や「サラダチキン」などのチキン商品が好調に推移しました。また、ハンバーグ・ミートボール類やトンカツなどのフライ商品に加え、「レンジでごちそうシリーズ」などの簡便調理をアピールした商品の拡販に努め、販売数量を伸ばした結果、売上高は増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は、前年同四半期に比べて17億40百万円増加し、689億12百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は、生産及び物流コストの上昇分を販売価格に転嫁しきれなかったことから、前年同四半期に比べて8億28百万円減少し、21億36百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

<食肉事業>

国内事業については、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めて売上が伸長しました。牛肉は、米国産チルドビーフが好調を持続する中、豪州産も堅調に推移したことに加え、国産牛肉が相場下落傾向が続く状況においても販売数量を伸ばしたことから、売上高は増加しました。豚肉は、カナダ産チルドポーク「麦の誉」などのオリジナルブランドの拡販等に取り組んだ結果、売上高は増加しました。鶏肉は、「大地のハーブ鶏」の積極展開等に努めて販売数量を伸ばしたものの、前年の相場高の反動を受けた販売単価下落等の影響により、売上高は減少しました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、販売数量を増やして売上高は増加したものの、ニュージーランドの調達コスト上昇、米国での市況伸び悩みなどから収益面では苦しい状況となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は、前年同四半期に比べて49億88百万円増加し、1,386億66百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は、前年同四半期に比べて9億10百万円減少し、18億17百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて159億37百万円増加し、3,921億41百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有形固定資産の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて179億8百万円増加し、1,742億52百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて19億71百万円減少し、2,178億89百万円となりました。これは主に、配当金の支払にともなう利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2018年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,585	28,647
受取手形及び売掛金	94,056	101,097
商品及び製品	66,042	69,202
仕掛品	1,739	1,926
原材料及び貯蔵品	18,491	19,526
その他	3,557	7,474
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	213,465	227,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,053	34,574
機械装置及び運搬具（純額）	25,041	27,208
工具、器具及び備品（純額）	1,328	1,408
土地	25,901	25,492
リース資産（純額）	1,539	1,551
その他（純額）	2,870	2,906
有形固定資産合計	89,735	93,141
無形固定資産		
のれん	24,109	23,719
その他	1,706	1,685
無形固定資産合計	25,816	25,405
投資その他の資産		
投資有価証券	31,618	30,257
退職給付に係る資産	8,231	8,433
その他	7,458	7,158
貸倒引当金	△122	△121
投資その他の資産合計	47,186	45,728
固定資産合計	162,738	164,275
資産合計	376,204	392,141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,944	69,260
電子記録債務	1,637	1,520
短期借入金	21,395	26,167
1年内返済予定の長期借入金	4,964	4,551
未払法人税等	2,502	510
賞与引当金	5,985	1,923
役員賞与引当金	187	52
その他	27,147	40,967
流動負債合計	127,765	144,954
固定負債		
長期借入金	20,071	19,767
退職給付に係る負債	1,581	1,587
資産除去債務	1,207	1,218
その他	5,716	6,725
固定負債合計	28,577	29,297
負債合計	156,343	174,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,289	96,313
利益剰余金	90,031	88,176
自己株式	△1,824	△1,689
株主資本合計	214,499	212,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,013	6,455
繰延ヘッジ損益	△789	△1,088
為替換算調整勘定	△2,387	△2,422
退職給付に係る調整累計額	1,277	1,265
その他の包括利益累計額合計	4,113	4,211
新株予約権	257	139
非支配株主持分	990	734
純資産合計	219,861	217,889
負債純資産合計	376,204	392,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	201,879	208,615
売上原価	170,299	178,144
売上総利益	31,579	30,471
販売費及び一般管理費	26,184	26,816
営業利益	5,394	3,654
営業外収益		
受取利息	22	23
受取配当金	135	123
受取賃貸料	98	102
持分法による投資利益	290	170
その他	184	322
営業外収益合計	732	742
営業外費用		
支払利息	232	231
不動産賃貸費用	32	28
その他	31	13
営業外費用合計	296	272
経常利益	5,830	4,124
特別利益		
投資有価証券売却益	0	513
保険料収入	—	210
その他	44	0
特別利益合計	45	724
特別損失		
固定資産除却損	43	48
投資有価証券評価損	36	—
災害による損失	—	17
その他	0	0
特別損失合計	79	66
税金等調整前四半期純利益	5,796	4,782
法人税、住民税及び事業税	482	283
法人税等調整額	1,426	1,311
法人税等合計	1,908	1,595
四半期純利益	3,887	3,187
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,936	3,162

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	3,887	3,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	526
繰延ヘッジ損益	△182	△298
為替換算調整勘定	△1,077	△256
退職給付に係る調整額	△17	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,060	140
その他の包括利益合計	△1,764	100
四半期包括利益	2,122	3,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,493	3,260
非支配株主に係る四半期包括利益	△371	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	67,172	133,677	200,849	1,029	201,879	—	201,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	978	7,461	8,439	4,891	13,331	△13,331	—
計	68,150	141,138	209,288	5,921	215,210	△13,331	201,879
セグメント利益	2,964	2,727	5,692	66	5,758	△364	5,394

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	68,912	138,666	207,578	1,036	208,615	—	208,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	889	7,241	8,130	5,521	13,651	△13,651	—
計	69,802	145,907	215,709	6,558	222,267	△13,651	208,615
セグメント利益	2,136	1,817	3,953	29	3,982	△327	3,654

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。